

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81100 消防本部運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
						款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
						項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
						目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 消防総務課・指令課・救急課			内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	・消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		141,495	139,884	139,838	139,922	139,490
						増減 (b)-(a)
						△ 394
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	400	975	792	792	918
	その他(消防手数料、白川村受託事業収入)	11,220	13,034	11,050	11,050	11,471
一般財源		129,875	125,875	127,996	128,080	127,101
個票枝番 主な事業内容						
	消防本部の運営	128,306	127,457	125,138	125,222	125,346
	AED(自動体外式除細動器)の維持管理	13,079	12,322	14,590	14,590	14,047
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	110	105	110	110	97

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	140,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
144,950	147,789	147,789	7,951
804	909	909	117
12,412	12,135	12,135	1,085
131,734	134,745	134,745	6,749
査定額	説明		
130,735			
16,944			
110			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・火災出動 22件、救急出動 4,743件、救助出動 42件(令和4年1月～令和4年12月中) ・消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 ・緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 5件 ・Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者24名、通報実績0件))
評価等	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 ・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 ・Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・火災出動 29件、救急出動 4,780件、救助出動 47件(令和5年1月～令和5年12月中) ・消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 ・緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 25件 ・Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者30名、通報実績0件))
評価等	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 ・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 ・Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。

担当課 予算要求 ポイント	・高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上 ・AEDの維持管理に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81110 消防署運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
					款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
					項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
					目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 消防総務課			内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		37,700	35,928	43,330	41,013	38,585	2,657
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	1,939	1,831	2,319	2,319	2,243	412
一般財源		35,761	34,097	41,011	38,694	36,342	2,245
個票枝番	主な事業内容						
	消防署の維持管理	37,700	35,928	43,330	41,013	38,585	2,657

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	30,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
39,920	38,920	38,920	△ 4,410
2,629	2,596	2,596	277
37,291	36,324	36,324	△ 4,687
査定額	説明		
38,920			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(高圧幹線修繕(高山)、給湯修繕(高山・上宝)、会議室空調設備修繕(高山)、仮眠室空調設備修繕(高山)、訓練塔修繕(高山)、消防設備修繕(大野)、上水道漏水修繕(清見)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・各署所における施設や設備の不具合を早期に見出し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(非常灯修繕(高山)、空調修繕(高山、清見)、多目的トイレ漏水修繕(国府)、給湯器修繕(大野、国府)、執務室建具修繕(大野)、訓練塔修繕(上宝)、雨樋修繕(荘川)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・各署所における施設や設備の不具合を早期に見出し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 予防課	内線	2118								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,005	923	1,106	1,076	1,072	149
特定財源	国費 ()						
	県費 (県移譲事務交付金)	1,005	923	1,106	1,076	1,072	149
	その他()						
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	火災予防対策	1,005	923	1,106	1,076	1,072	149

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,081	1,081	1,081	△ 25
1,081	1,081	1,081	△ 25
	0	0	
査定額	説明		
1,081			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値598件、実施631件 非特定防火対象物の重大違反9件中5件是正) ・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講93名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講16名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画を作成し実施した。(火災予防運動:事業所の協力による火災予防啓発活動2回、女性消防団員と協力し火災予防街頭啓発2回、対象物合同訓練12件、文化財防火デー訓練12件 危険物安全週間:立入検査128件) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:90.3%、個別訪問指導(電話指導含む):410件) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修(職場体験学習)を実施した。(定員30名、参加者14名) ・予防技術指導体制(火災調査、防火査察)を確立し、職員の知識技術向上を図った。
評価等	・立入検査は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながらの実施となったが、目標値を上回った。違反是正は5件は正したが、引き続き4件の指導が必要である。 ・防火管理講習は感染症拡大対策をとりながらではあるが定員数の拡大が必要である。 ・行事は感染症拡大防止を考慮した内容に変更し、火災予防意識の普及を図ることができた。 ・住宅用火災警報器の設置は、特に維持管理の重要性について積極的な啓発を図ることがある。 ・少年消防クラブリーダー研修は、感染防止に配慮しながら、概ね定員の半数程度の参加者を得ることができた。研修の内容の検討を要する。
次年度以降の考え方(担当課)	・立入検査及び各予防運動の充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。 ・予防技術指導を継続し、違反是正の推進、火災調査体制の向上を図る。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・年度計画に基づき立入検査・違反是正を行った。(計画872件、実施972件 重大違反5件中3件是正) ・防火管理講習を企画運営し、甲種防火管理新規講習ではオンライン講習を初開催した。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講80名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講13名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う火災予防啓発等を行った。(住宅用火災警報器設置率:96.2%) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修を実施した。(定員30名、参加者23名)
評価等	・立入検査を積極的に実施し計画数以上の実績となった。重大違反の是正は大きく進捗した。 ・初のオンライン防火管理講習は適切に実施できたが、受講対象を拡大する余地がある。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理について積極的に行うことができた。 ・少年消防クラブリーダー研修は定員の半数以上の参加があり、参加者の満足度も高かった。
次年度以降の考え方(担当課)	・立入検査を継続的に実施し、違反是正を推進する。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理とともに感震ブレーカーの普及について重点的に行う。 ・複雑多様化する火災原因調査を行うため、鑑識資材を整備充実し、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・少年消防クラブ事業は内容の検討、募集の拡大により更なる活性化を目指す。

担当課 予算要求 ポイント	・立入査察(違反是正)及び火災原因調査に対する知識・技術の向上に必要な経費を計上 ・火災予防啓発等に必要な経費を計上 ・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上 ・甲種防火管理新規講習のオンライン実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)			
			項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	1	常備消防費						
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適（良）な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 ・保有する消防力（人、車両、装備、資器材）を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。	概要	・各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 ・広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 ・各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		16,260	15,656	16,600	18,928	18,303	2,647
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入)	850	802	1,090	1,090	1,054	252
一般財源		15,410	14,854	15,510	17,838	17,249	2,395
個票枝番	主な事業内容						
	消防車両・装備等維持管理	16,260	15,656	16,600	18,928	18,303	2,647

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
17,621	16,730	17,180	580
2,087	1,890	1,890	800
15,534	14,840	15,290	△ 220
査定額	説明		
17,180			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動に確実に対応できるよう図った。 ・岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	・保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 ・近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 ・発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動に確実に対応できるよう図った。 ・岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 ・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練へ参加し、消防広域応援体制の強化を図った。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊として、能登半島地震に計35名(第1陣～第3陣)を派遣した。
評価等	・保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 ・近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 ・発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防ポンプ車、救急車及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・救急車の維持管理に必要な経費について積算内容を精査

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)			
			項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	1	常備消防費						
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。	概要	・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		13,720	13,560	9,660	9,595	8,861	△ 4,699
特定財源	国費 ()						
	県費 (新型コロナウイルス感染症患者移送費負担金、新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備補助金)		6,241			376	△ 5,865
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	6,304	4,844	4,934	4,934	4,853	9
一般財源		7,416	2,475	4,726	4,661	3,632	1,157
個票枝番	主な事業内容						
	救急救命の推進等	13,390	13,560	9,330	9,265	8,861	△ 4,699
	気管挿管救命士の育成	330	0	330	330	0	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	8,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
10,082	9,590	9,140	△ 520
5,168	5,162	5,162	228
4,914	4,428	3,978	△ 748
査定額	説明		
8,810			
330			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・救急救命士の再教育を実施した。 ・薬剤認定救命士を2名養成した。 ・新処置認定救命士を2名養成した。 ・公募による普通救命講習を9回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を272回開催し、計3,690名が救命講習を受講した。 ・救命講習の動画配信やオンライン講習を導入した。
評価等	・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。 ・動画配信やオンライン講習の導入により、救命講習を広く市民が受講できる体制を整えた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・救急救命士の再教育を実施した。 ・薬剤認定救命士を3名養成した。 ・新処置認定救命士を2名養成した。 ・公募による普通救命講習を5回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を275回開催し、計4,135名が救命講習を受講した。
評価等	・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。

担当課 予算要求 ポイント	・救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 ・救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 ・医療機器消耗品の計画的更新に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・医療用機器の更新に必要な経費について積算内容を精査

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
					款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
					項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
					目	2	消防団費						
担当課	消防本部	消防総務課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団の活動が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努める。 ・市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ることで、市民の安全、安心の確保を図る。	概要	・消防団員の任免 ・報酬等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資器材等の維持管理 ・消防団員の入団促進、確保対策の取組み（H29～）
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		273,277	228,651	294,363	298,363	261,092	32,441
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(退職報償金、公務災害補償費、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	81,100	69,100	91,800	91,800	82,956	13,856
一般財源		192,177	159,551	202,563	206,563	178,136	18,585
個票枝番	主な事業内容						
	消防団の運営	124,457	118,029	155,013	159,013	142,523	24,494
	消防団入団促進	320	292	250	250	406	114
	消防団員年報酬、出勤報酬等	139,000	103,601	130,000	130,000	109,574	5,973
	消防団員活動服、安全靴の更新	8,700	6,380				△ 6,380
	消防団員の自動車運転免許取得への助成	800	349	800	800	559	210
◎ 1	消防団員の耐切創性手袋、防寒衣の整備			8,300	8,300	8,030	8,030

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	272,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
262,012	260,994	260,994	△ 33,369
31,654	31,600	31,600	△ 60,200
230,358	229,394	229,394	26,831
査定額	説明		
121,494			
400			
130,000			
800			
8,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 ・フォトコンテスト優秀作品で団員募集ポスターを作成し、広報活動を展開した。 ・消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 ・消防操法大会のあり方について検討を推進し、親しみある消防団を目指し、消防団員とふれあえる体験型のイベントとして開催方針を定め、消防フェスティバルに改称した。 ・消防団員の活動服287着、安全靴225足を更新した。
評価等	・市消防操法大会を3年ぶりに開催した。(R2、R3中止) ・感染防止対策を講じながら、規模を縮小するなど、時間や場所、内容を工夫して訓練を実施した。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得3名、AT限定解除1名が活用した。 ・新基準に適合した活動服や安全靴の更新整備が完了し、活動中の視認性及び安全性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	・消防団員の処遇改善について継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 ・「消防フェスティバル」に改称し、市民に消防団活動や重要性、地域での役割などを伝え理解の向上を図る。 ・消防団員被服、装備品の整備を推進する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 ・フォトコンテストを実施した。(応募20点、入賞5点) ・消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 ・消防操法大会のあり方を見直し、大会に代わるものとして参加型の消防フェスティバルを初開催した。(来場者約1,200人) ・消防団員の高視認性防寒衣400着、耐切創性手袋400双を配備した。 ・消防団員の処遇改善に向け、退職報償金の支給額の見直しを行った。
評価等	・フォトコンテストを実施し、だれでも手軽にスマホで撮影し応募できるようLoGoフォームを活用した。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得4名が活用した。 ・高視認性防寒衣、耐切創性手袋を順次配備、活動中の視認性及び安全性が向上した。 ・勤務年数の長い消防団員の処遇改善に繋がった。
次年度以降の考え方(担当課)	・消防団員の処遇改善に継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 ・消防フェスティバルにおいて、市民に消防団活動の重要性、地域での役割などを分かりやすく伝え理解の促進とイメージアップを図る。 ・消防団員被服、装備品の整備を推進する。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 ・消防団員の入団促進策、確保対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和5年度決算)

事業名	81200	消防団運営事業費	区分	☒ R5新規	☐ R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課	
				☐ R5拡充	☐ R6拡充		款	8	消防費			
枝番・内容	1	消防団員の耐切創性手袋、防寒衣の整備		☐ その他重要事業			項	1	消防費	内線	2119	
				☐			目	2	消防団運営事業費	作成年月	R6.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団員の装備品を計画的に整備することで、災害活動における安全の確保を図る。	概要	・消防団員の耐切創性手袋、防寒衣の整備
----	---	----	---------------------

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	8,300
	繰越	0
	補正等	0
	最終	8,300
決算額		8,030
対前年度増減額(決算)		8,030

事業実績、評価等		
[事業実績] ・消防団員400名分の耐切創性手袋及び防寒衣を整備した。		
[評価等] ・災害現場における消防団員の安全確保が図られた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・継続して整備を進める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	8,300
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		8,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・消防団員の耐切創手袋、防寒衣の整備	
[スケジュール] ・R6.4～発注・納入	

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81300 消防施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
					款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)				安全への備えと災害時の対応強化
					項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画					
					目	3	消防施設費							
担当課	消防本部 消防総務課			内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,999	3,918	42,100	44,976	40,246	36,328
特定財源	国費 ()						
	県費 (林業費補助金)					3,000	3,000
	その他(地方債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,700	1,600	38,200	38,200	33,200	31,600
一般財源		2,299	2,318	3,900	6,776	4,046	1,728
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車庫修繕・撤去等		0	2,100	2,100	1,864	1,864
	消防団車庫改築	2,300	2,035	36,200	37,976	33,514	31,479
	消防署等施設の施設修繕	1,200	1,188	3,800	4,900	4,868	3,680
	高機能消防指令システムの更新						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	1,406,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,502,143	1,380,700	1,380,700	1,338,600
32,200	0	150,000	111,800
1,469,943	1,380,700	1,230,700	1,226,800
査定額	説明		
1,700			
0			
2,400	牧ヶ洞グラウンドLED化等		
1,376,600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・消防団車庫のトイレ水洗化工事を行った。(上宝支団蔵柱班) ・女性職団員の職場環境の改善を目的として、大野分署に女性用シャワー室の増設工事を行った。
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。 ・女性職団員の職場環境の改善を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。 ・女性職団員の職場環境の改善をさらに推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防団車庫の新築工事を実施した。(朝日支団小瀬立岩班) ・統廃合により用途を廃止した旧団車庫2施設の解体工事を実施した。 ・女性職団員の職場環境の改善を目的として、国府分署に女性シャワー室の増設工事を行った。 ・大野分署屋外照明のLED化工事を行った。
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。 ・女性職団員の職場環境の改善を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車庫の更新に必要な経費を計上 ・消防署施設の改修に必要な経費を計上 ・高機能消防指令システムの更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81310 消防車両整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
						款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
						項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
						目	3	消防施設費						
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課			内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両(署・団)を適正に配置する。 ・老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	----------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		247,500	30,542	41,000	252,200	249,416	218,874
特定財源	国費 (消防施設等整備事業費 1/2)			12,000	12,000	12,779	12,779
	県費 ()						
	その他(地方債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	169,000	29,300	25,000	25,000	24,700	△ 4,600
一般財源		78,500	1,242	4,000	215,200	211,937	210,695
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車両更新	27,100	28,246	0	0	0	△ 28,246
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新	2,400	2,296	0	0	0	△ 2,296
	消防署車両更新	218,000	0	41,000	252,200	249,416	249,416

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	130,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
311,350	234,500	234,500	193,500
13,042			△ 12,000
246,100	213,700	213,700	188,700
52,208	20,800	20,800	16,800
査定額	説明		
94,400			
20,800			
119,300	消防車2台、指令車1台、警防搬送車2台		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・はしご付き消防自動車1台の更新に伴う契約を締結した。令和5年度中に高山消防署へ配備予定。(繰越明許費) ・消防団小型ポンプ付積載車1台を更新し、国府支団(八日町班)に配備した。 ・消防ポンプ自動車1台を更新し、久々野支団(橋場班)に配備した。
評価等	・消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 ・老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整を図る。 ・常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・はしご付き消防自動車1台を更新し、高山消防署に配備した。(令和4年度繰越明許費) ・消防ポンプ自動車1台の更新に伴う契約を締結した。(令和5年度債務負担行為) ・消防団小型ポンプ付積載車4台の更新に伴う契約を締結した。(令和5年度債務負担行為) ・高規格救急車1台を更新し、高山消防署に配備した。 ・指令車(ワンボックス車)1台を更新し、上宝分署に配備した。 ・資機材搬送車(軽トラック)1台を更新し、高山消防署に配備した。
評価等	・消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化につながった。 ・老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整する。 ・常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を行う。

担当課 予算要求 ポイント	・消防署車両の更新に必要な経費を計上 ・消防団車両の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・消防車両の更新時期を見直し
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
					款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
					項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
					目	3	消防施設費						
担当課	高山消防署 指令課	内線	2117										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 ・消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	・耐震性貯水槽を整備する。 ・損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 ・防火水槽の清掃(土砂除去等)による環境改善と水量維持)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		19,691	19,443	21,800	22,924	20,912
特定財源	国費 (消防防災施設等整備費 1/2)					
	県費 ()					
	その他(過疎対策事業債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	7,000	15,000			△ 15,000
一般財源		12,691	4,443	21,800	22,924	20,912
個票枝番	主な事業内容					
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体	1,449	1,265	4,200	5,324	5,324
	水利施設の維持管理等	8,242	8,421	7,600	7,600	5,855
	消火栓の予防的更新	10,000	9,757	10,000	10,000	9,733

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	41,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
23,800	21,900	21,900	100
23,800	21,900	21,900	100
査定額	説明		
4,300	防火水槽撤去		
7,600			
10,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・防火水槽のバルブ、躯体保護、フェンスの破損等を6基修繕した。 ・防火水槽の清掃を3基行った。(堆積土砂除去等)による環境改善及び水量維持)
評価等	・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・計画的に耐震性貯水槽を整備する中、耐用年数を経過し老朽化した防火水槽を解体した。 ・防火水槽の躯体保護、排水管の破損等を4基修繕した。 ・防火水槽の清掃を1基行った。(堆積土砂除去等)による環境改善及び水量維持)
評価等	・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 ・消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
					款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
					項	1	消防費	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画				
					目	3	消防施設費						
担当課	消防総務課・警防課・指令課・救急課	内線	2119										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。	概要	・計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 ・初期消火資器材の新規及び更新整備
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	82.1%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		22,300	22,218	21,900	21,900	20,825
特定財源	国費 (消防資器材整備事業費 1/3)		975			
	県費 ()					
	その他(白川村受託事業収入)	3,000	4,000	3,100	3,100	2,998
一般財源		19,300	17,243	18,800	18,800	17,827
個票枝番	主な事業内容					
	消防資器材の整備	22,300	22,218	21,900	21,900	20,825

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
26,380	21,900	25,500	3,600
673	670	670	△ 2,430
25,707	21,230	24,830	6,030
査定額	説明		
25,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・常備消防上下式防火衣23着を更新整備した。 ・救助訓練用人形3体を更新整備した。 ・自動体外式除細動器1器、自動式吸引器1台を更新整備した。 ・消防団用にデジタル簡易無線機55機、救命胴衣50着を追加整備した。 ・消防ホース82本(常備17、団65)を更新整備した。 ・初期消火資器材について、格納箱29基及びホース116本を新規整備し、格納箱17基及びホース43本を更新整備した。 ・救命講習用訓練人形2体、AEDトレーナー1台を更新整備した。
評価等	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 ・消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 ・初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 ・講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 ・老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 ・消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備すると共に、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・常備消防上下式防火衣16着を更新整備した。 ・訓練用安全マット1式を更新整備した。 ・機械式心臓マッサージ器1器、自動式吸引器1台、CO2測定器1器等を更新整備した。 ・消防団用に夜間用照明器具(発電機、LED照明器具)10式を整備した。 ・消防ホース59本(常備27、団32)を更新整備した。 ・初期消火資器材について、格納箱28基及びホース112本を新規整備し、格納箱18基及びホース45本を更新整備した。 ・救命講習用訓練人形3体、AEDトレーナー1台を更新整備した。
評価等	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 ・消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 ・初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 ・講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 ・老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 ・消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備するとともに、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上 ・消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・消防資器材の計画的な整備に必要な経費について積算内容を精査